

番号	実施方式	所属	募集する学生像	募集人員	実施期間	実施日数	テーマ	概要	内容（予定）	得られるスキル	実施場所	事前課題	時間外	その他参加条件
1	対面	植物部植物課	・農学や造園学等を専攻する学生。 ・基本的な生物学の知識を持つ者 ・英語も出来ればより良い。	各回1名	①8/1～8/15（10日） ②8/18～8/29（10日） ③9/1～9/12（10日） ④9/16～9/30（10日） ⑤10/1～10/15（10日） ⑥10/16～10/29（10日） ⑦11/4～11/14（9日） ⑧11/17～11/28（9日） ⑨12/1～12/12（10日） ⑩12/15～12/26（10日） ※土日祝は除く	10日 ※⑦⑧は9日	「植物維持管理体験プロジェクト」	2027年の国際園芸博覧会では1000万株の植物が使用されます。日本だけでなく海外からも多様な植物を調達して来場した皆さんに感動を与えます。博覧会で使用する植物をどのように維持管理しその記録を残すのか。植物の魅力をもどるような戦略で発信し、園芸博覧会を盛り上げていくのか。実際にこのプログラムで体験することができます。 ★参加することで植物・造園業界への理解が深まり、37年振りに開催されるA1クラスの国際園芸博覧会の植物に関係する現場を体験できます。	・植栽維持管理 ・植栽試験ほ場で実際に植物維持管理作業を体験。 ・植物の生育調査 現場へ行って育成中植物の生育状況を確認。 ・SNS発信（Instagram、X、Facebook） 植物の魅力伝えるためのSNSコンテンツを企画・作成。 ・植物の学名チェック・文献調査 調達植物・海外から持ち込まれる植物について、植物検疫条件などをチェック。 ・植物ガイドボランティアが園芸博会場で来場者に解説する際に参考とするための植物図鑑作成 調達した植物の図鑑を作成。 ・その他 書類作成（和文・英文）	・園芸イベントにおける植物維持管理の実践スキル ・SNSを使った植物に関する情報発信スキル ・植物輸入に係る実践スキル	・事務室（横浜市中区住吉町1丁目13番地 松村ビル本館） ・植栽試験ほ場	なし	なし	
2	対面	植物部植物課	・DXを活用した業務効率化に関心のあるデータサイエンス系の大学生等 ・Power Automate又はPythonでのプログラミング経験があるもの ・Microsoft365ソフトを問題なく使用できるもの。	1名	8/8～9/19（平日週2回） ※曜日は要調整	10日	「植物の調達・維持管理システム開発プロジェクト」	業務効率化のプロジェクトチームメンバーとして、1000万株に及ぶ植物管理について、業務効率化の検討及びMicrosoft365、PowerAutomateやPython等を使い業務効率化ITツールを開発。あなたが作ったツールが博覧会で実際に活用されます。今しか体験できない業務です。あなたの力を発揮してみてください。 ★参加することで植物関係業界への理解が深まります。	・業務効率化の検討 Microsoft365を活用し、植物部の業務効率化を検討。 ・プログラミング実装 PowerAutomateやPythonを使って、自動化ツールを開発。 ・ミーティング参加 プロジェクトチームのミーティングに参加し、議事録を作成。	・システム開発を通じた実践型業務効率化のノウハウ ・プロジェクトマネジメント力 ・コミュニケーション力	・事務室（横浜市中区住吉町1丁目13番地 松村ビル本館）	なし	なし	実習で作成したプログラミングソースコード等の著作権については当協会となることに承諾していること。
3	対面	機運醸成部機運醸成課	・SNSほか、ソーシャルメディアの活用やマーケティングなどを学んでいる、または関心を持っている学生 ・広報プロモーション、観光施策などを学んでいる、または関心を持っている学生	SNS運用1名、広報プロモーション活動2名程度	SNS運用：8月 広報プロモーション活動：10月～11月 ※実施日は要調整	SNS運用：3日程度 広報プロモーション活動：参加者決定後調整	「GREEN×EXPOの魅力発信、認知拡大実践プロジェクト」	2027年3月のGREEN×EXPO開催に向けた機運醸成業務を体験しませんか。テーマは「若者の視点で博覧会を盛り上げよう！」。SNSを活用したGREEN×EXPOの魅力発信などに関わりながら、実践的な業務経験ができます。 ★参加することで観光やイベントなど関係業界への理解が深まります。	・SNS運用 Instagram、X（旧Twitter）、Facebookを使って、GREEN×EXPOの魅力を実際に投稿。 ・イベント等での広報プロモーション活動 イベント等でのブース出展を通じたGREEN×EXPOの周知を目指す。	・SNSの運用活用スキル ・イベント企画・運営力 ・チームワーク	・事務室（横浜市中区住吉町1丁目13番地 松村ビル本館） ・取材先 ・イベント会場	なし	あり	
4	対面	整備部計画課	持続可能な社会の実現に向けたグリーンテクノロジー（カーボンニュートラルやネイチャーポジティブ、グリーンインフラなど）やユニバーサルデザインなどに関心を持っている学生	1～2名	8/1～9/30	10日 ※土日祝は除く	「持続可能な社会の実現に向けた博覧会会場の提案！課題解決型プロジェクト」	博覧会の会場計画に当たっては、時代認識や開催意義を踏まえ、世界から地域レベルに至る様々な今日の課題の解決策を提示しながら、さらには会場内の様々な展示出展の意図を来場者に効果的かつ魅力的に伝えることが可能な会場づくりを目標としています。 実現に向けては3つの基本方針を設定しています。 ① 自然環境ポテンシャルを取り入れた会場 ② あらゆる主体がつながり、将来につながる会場 ③ 誰もが使いやすい会場 会場の基盤としての空間領域と各施設等に加え、出展者及び管理者の様々なニーズや多様な事業展開に柔軟に対応できる仕組みを運動させることで国際園芸博覧会事業の魅力を最大限に演出する会場としていきます。 あなたが考える課題と解決策を提案し博覧会を盛り上げましょう。 ★参加することで造園、環境など関係業界への理解が深まります。	・会場視察、会場計画概要把握 博覧会会場の環境整備状況を確認。 ・課題、テーマの設定 会場計画の基本方針等を踏まえ、課題、テーマを設定。 《例》 ・来場者の実感につながるグリーンインフラの実装について ・誰もが使いやすいインクルーシブな会場づくり ・来場者が涼を体感できる空間づくり など ・解決策の検討 協会内部の打合せの出席や自己研究を通じて解決策の検討。 ・報告会 解決策を発表。	・課題解決力 ・プレゼンテーション力	・事務室（横浜市中区住吉町1丁目13番地 松村ビル本館） ・博覧会会場	なし	なし	

※ 「インターンシップ」、「キャリア教育」により単位認定される場合があります。詳しくは学校にお問い合わせください。